

日本動物遺伝育種学会・在来家畜研究会合同シンポジウム

在来家畜研究会会長
万年英之

2010年3月27日(土)に明治大学駿河台キャンパスで開催される第112回日本畜産学会の開催に合わせて、日本動物遺伝育種学会・在来家畜研究会合同シンポジウムを開催いたします。

シンポジウムは、「日本における遺伝資源の保護と保全への取り組みとその展望～野生動物、動物園および魚類の立場から～」と題して、3名の先生方に講演をしていただき、その後、日本における遺伝資源について多角的かつ総合的に討論していただく予定です。会員の参加をお願いいたします。

記

日時： 2010年3月27日(土)13時から17時まで

場所： 明治大学駿河台キャンパス・リバティタワー9階1094(IX会場)

テーマ： 「日本における遺伝資源の保護と保全への取り組みとその展望
～野生動物、動物園および魚類の立場から～」

講演：

- ①野生動物から見た遺伝資源の保護と保全への取り組みとその展望(13時15分予定)
村山美穂先生(京都大学野生動物研究センター・教授)
- ②動物園から見た遺伝資源の保護と保全への取り組みとその展望(14時05分予定)
小宮輝之先生(恩賜上野動物園・園長)
- ③魚類から見た遺伝資源の保護と保全への取り組みとその展望(15時55分予定)
西田 睦先生(東京大学海洋研究所・教授)

講演40分、質疑応答10分ののち、総合討論30分

問い合わせ先

在来家畜研究会

庶務幹事・西堀正英

nishibo@hiroshima-u.ac.jp

082-424-7992

(Fax: 082-424-7916)